



特色ある学校づくりに係る資料（令和6年度）

学番	36	学校名	県立長岡農業高等学校	校長氏名	村山 和彦
----	----	-----	------------	------	-------

I 校長として目指している学校像

生徒一人一人に自己の興味・関心、適性を理解させたいうえで、農業の専門分野を学び、努力をしていける人材を育成する。

- 自主自立し、生徒一人一人が主体的な学びと確かな学力を身につける。
- 自ら課題を発見し、挑戦できる力を身につける。
- 他者と協力して、よりよく生きるための社会性を身につける。

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- (1) 常に授業力向上を目指し、研鑽を重ね、前向きな気概のある教師
- (2) 本校生徒としての自信と誇りをもたせることができる教師
- (3) 生徒一人一人の夢や希望を実現するために、進路選択・決定を支援できる力をもった教師
- (4) 教師としての使命感をもち、協働して課題に取り組むことができる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- (1) 農業科の特長を十分生かし、生徒に「農業」「環境」「食品」の分野を担う人材を育成する。
- (2) 「命を育て、命を学ぶ農業のスペシャリスト」、「食生活や住環境、地域環境や造園を学ぶ環境のゼネラリスト」、「食品製造・加工・分析を学ぶ食のエキスパート」を目指し、実践的な教育活動を展開する。
- (3) 各科及び各教科で資格・検定の取得を目指し、自己の進路達成と進路実現に取り組む。

IV 長岡農業高等学校の特色

- (1) 令和6年度に創立116年を迎える伝統と歴史を誇る農業高校であり、地域に活かす人材の育成を目指します。
- (2) 1年生は基礎学力の定着を図り、各教科の共通科目を学習し、様々な農業分野を体験的に学習します。
- (3) 2年生、3年生は、コース別に分かれて、専門分野の知識と技術を学び、主体的に進路選択・決定して希望進路の実現を図ります。
- (4) 興味・関心、適性に応じて、①作物生産、②動物科学、③青果生産、④園芸科学、⑤生活デザイン、⑥地域デザイン、⑦食品加工、⑧栄養化学コースから選択し学習します。